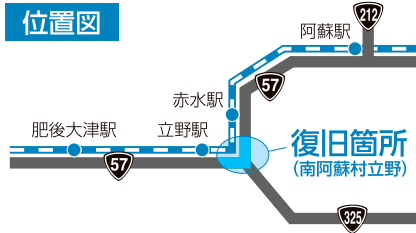


南阿蘇村立野地区（阿蘇大橋周辺） 動脈寸断箇所の復旧へ前進、そして復興へ

大規模斜面崩壊対策完了



位置図



8月8日 JR豊肥本線 全線開通



新阿蘇大橋（仮称）令和3年3月頃開通予定

国道57号現道部 令和2年10月3日開通予定

平成28年4月16日熊本地震により発生した大規模斜面崩壊でJR豊肥本線、国道57号など交通の動脈が寸断されました。

国土交通省熊本復興事務所では、被災直後より大規模斜面崩壊箇所の安定化対策を進め、梅雨期を経て施設効果が確認されたので、斜面对策の完了となりました。

また、令和2年8月8日のJR豊肥本線の全線開通に続き、国道57号現道部は令和2年10月3日に、新阿蘇大橋（仮称）は令和3年3月頃の開通予定です。

引き続き、熊本地震からの1日も早い復旧復興を進めて参ります。



（お問い合わせ先）



国土交通省 九州地方整備局 熊本復興事務所

〒869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽3574（旧南阿蘇村長陽庁舎）

TEL：0967-67-2017（代表） FAX：0967-67-2083（総務課）

ホームページ https://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto_r

南阿蘇村からのお知らせ

すがる 立野地区の大規模斜面崩壊を「数鹿流崩れ」と命名

南阿蘇村では、熊本地震で発生した立野地区の大規模斜面崩壊の震災遺構について、「南阿蘇村震災遺構保存検討会」において検討いただき、熊本地震を象徴する箇所であり、復旧に向けた対策工を含め、自然災害と人間の営みを学べる貴重な遺構として、今後活用していく価値があり、災害を風化させず確実に後世に伝承する必要があるとして、保存方法に関してご意見をいただきました。このご意見を参考に、南阿蘇村において検討し、大規模斜面崩壊を「数鹿流崩れ」と命名し、斜面崩壊箇所に石碑を建造することとしました。

また、併せて国土地理院で「自然災害伝承碑」への登録を進めています。